

# Green & Social Bond Newsletter

グリーン&ソーシャルボンドニュースレター

2021年9月 第7号

## 目次

- 1 [COVID-19が残した深い傷](#)
- 2 [2020・2021年のハイライト](#)
- 3 [アフリカ大陸におけるCOVID-19危機への対応](#)
- 4 [アフリカをより気候レジリエントな未来へ導く](#)
- 5 [サヘル地域を一変させるグリーン成長回廊](#)
- 6 [気候変動とグリーン成長を有言実行](#)
- 7 [電力・エネルギー・気候変動・グリーン成長担当総裁ケビン・カリウキとの対話](#)
- 9 [SDGs達成に向けた女性のエンパワーメント](#)
- 10 [アフリカでSDGsを達成に導くグリーン&ソーシャルボンド・プログラム](#)
- 11 [AfDBのグリーン、ソーシャル、COVID-19ボンド・ポートフォリオ](#)
- 14 [最近のESG債発行](#)
- 16 [グリーン、ソーシャル、COVID-19ボンドの配分](#)
- 17 [変革をもたらすグリーン、ソーシャル、COVID-19プロジェクト](#)
- 23 [グリーンボンド・インパクトレポート](#)
- 24 [ソーシャルボンド・インパクトレポート](#)
- 25 [COVID-19ボンド・インパクトレポート](#)
- 27 [透明性と開発成果](#)

## COVID-19が残した深い傷

世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックと戦ってきた2020年～2021年は非常に困難な時期となっています。驚くべき速さでウイルスが広がったため、ほとんどのアフリカ諸国は感染を抑えるために厳しい規制を敷き、その結果、経済はほぼ停止状態に陥りました。

アフリカはCOVID-19による最悪の健康被害を免れていますが、アフリカ大陸の2020年のGDPは2.1%縮小し<sup>1</sup>、過去50年で最悪の景気後退となりました。アフリカ開発銀行によると、最大で3,000万人の雇用が失われ、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた進展が数年単位で後退し、極度の貧困状態<sup>2</sup>にある人の数が4億6,300万人に増える可能性があります。2021年にはアフリカ経済の回復が見込まれており、GDP成長率は3.4%となる見通しです。

COVID-19危機による打撃は、気候変動の影響によって増幅されています。2021年第1四半期には、アフリカの10カ国で鉄砲水が発生したほか、サイクロン「エロイーズ」がアフリカ南部を襲い、南アフリカ、モザンビーク、ジンバブエで死者と被害が出ました。

COVID-19のパンデミックと気候変動という2つの課題が、アフリカ大陸の脆弱性を悪化させています。2020年に予算の優先順位がCOVID-19対応プロジェクトにシフトしたことで、世界各地の気候変動ファイナンスは大きな影響を受けました。しかし、アフリカ大陸がCOVID-19パンデミックからの「より良く、よりグリーンな復興」を続ける中、当行はアフリカにおける気候レジリエントで低炭素な開発を支援するために世界中の資源を動員する取り組みを適切に拡大しました。

この先、当行は2020年～2025年に最大250億ドルの気候変動ファイナンスを動員することを約束しており、そのうち50%が適応策に充てられます。このような比率を達成する多国間開発銀行（MDB）は、アフリカ開発銀行が初めてです。これは、アフリカ大陸全体の適応行動を強化し、スピードアップすることを目的として今年発足した「アフリカ気候適応加速プログラム（AAAP）」を通じてサポートされます。

“ COVID-19のパンデミックは世界のすべてを一変させ、アフリカの成長を後退させました。今や、私たちはアフリカが大胆に、しかし賢く、特に健康、気候、環境分野での質の高い成長に一段と配慮して復興を果たすのを支援しなければなりません。”

アキンウミ・アデシナ

アフリカ開発銀行グループ総裁



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP

1 出典： [African Economic Outlook 2021](#)

2 1日1.9ドル未満と定義。

## 2020・2021年のハイライト

### パンデミックとの戦い

2020年3月、アフリカ開発銀行（AfDB）はパンデミックが人々の生活やアフリカ経済に及ぼす影響を軽減するために、3年物の「[新型コロナウイルス戦う（Fight COVID-19）ソーシャルボンド](#)」の発行を通じて30億米ドルを調達しました。これは発行時点で世界最大のソーシャルボンドであるほか、AfDBが米ドル市場で発行した初のソーシャルボンドであり、過去最大のベンチマーク債となりました。この画期的な起債により、AfDBはグローバル・キャピタルから「[COVID-19ボンド最優秀発行体](#)」に選ばれました。この債券はルクセンブルク証券取引所とロンドン証券取引所（LSE）に上場されており、AfDBにとってはLSEへの初上場となったほか、ナスダックのサステナブルボンド・プラットフォームにも登録されています。

### AfDBのCOVID-19への対応

COVID-19後のアフリカの復興における強靭性（レジリエンス）の構築は、2020年4月に発出したAfDBの「[COVID-19即応ファシリティ（COVID-19 Rapid Response Facility）](#)」の中核をなすものです。このファシリティはソブリン事業とノンソブリン事業を対象としており、アフリカ諸国のパンデミック対策を支援するために柔軟な援助を行っています。

### 北欧の投資家によるアフリカ支援

画期的な米ドル建て「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドに続き、25億スウェーデン・クローナ建て3年物「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドを発行し、北欧の主要な環境・社会・ガバナンス（ESG）投資家の関心を集めました。これはAfDBにとってスウェーデン市場で発行した初のソーシャルボンドであり、過去最大のスウェーデン・クローナ建て起債となりました。2021年には、デュアルトランシェの10億スウェーデン・クローナ建て5年物グリーンボンドと10億ノルウェー・クローネ建て5年物ソーシャルボンド、そして20億スウェーデン・クローナ建て5年物ソーシャルボンドを発行しました。

### 初の豪ドル建て（カンガルー）ソーシャルボンド

2021年6月には、6億豪ドルの5.5年物カンガルー・ソーシャルボンドを発行し、2018年以来、豪ドル建て発行市場への復帰を果たしました。この起債は、AfDBが発行した豪ドル建て債券としては過去最大のものであり、社会的責任投資を重視する投資家からの参加が38%ありました。

### ESG市場における知名度

2019年に発行した10億ノルウェー・クローネ建て3年物ソーシャルボンドを、20億スウェーデン・クローナ建て5年物グリーンボンドとのデュアルトランシェ取引の一環として成功させたことで、Environmental Finance誌が主催する「[2020年最優秀ソーシャルボンド](#) - 国際機関・準ソブリン・政府系機関（SSA）部門賞」を受賞しました。この取引は、ESG市場における初のグリーン/ソーシャル・デュアルトランシェとなったほか、ノルウェー市場で発行された初のソーシャルボンドであり、AfDBにとって初のノルウェー・クローネ建て発行でもありました。

### アフリカの課題解決のための銀行

AfDBは、2021年にGlobal Finance誌から「[世界で最優秀の多国間金融機関](#)」に選ばれました。これは、AfDBがアフリカの課題解決のための銀行へと変貌を遂げた画期的な取り組みが世界的に評価されたものです。

### 気候適応の加速

2021年1月、「気候適応グローバルセンター（GCA）」とAfDBは、AfDBが主催する「[GCAアフリカ](#)」を設立しました。GCAはアフリカ気候適応加速プログラム（AAAP）を通じてAfDBと緊密に連携し、グローバルプログラムとの整合性を図り、プロジェクトを調整して、アフリカ各地のコミュニティのための行動を加速させます。パートナーは、アフリカ各地の気候変動適応行動を拡大・加速させるために250億ドルの拠出を約束しており、AfDBはそのうち125億ドルを拠出する予定です（詳細は4ページを参照）。

### 再生可能エネルギーの利用拡大

2020年、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）とAfDBは、アフリカ大陸のエネルギー転換に向けたステップとして低炭素エネルギープロジェクトへの投資を共同で支援することに合意しました。再生可能エネルギー投資フォーラムを共催し、AfDBの「[アフリカ投資フォーラム（AIF）](#)」でも協力していきます。また、パリ協定に基づくアフリカ諸国の「[自国が決定する貢献（NDCs）](#)」における再生可能エネルギーの役割を強化することにも注力します。

### サヘル地域の太陽エネルギーの可能性を解き放つ

2020年12月、AfDBは「[アフリカ持続可能エネルギー基金（SEFA）](#)」からの500万ドルの無償資金という形で、「[砂漠から電力へ（Desert-to-Power: DtP）](#)」イニシアティブに基づく技術支援プロジェクトを承認しました。2021年1月には、モロッコの3,000ヘクタールを超える砂漠に広がる世界最大の集光型太陽光発電プラントであるヌールワルザザート複合施設（AfDBが一部出資）が、サヘル地域で2つ目の巨大発電プロジェクトを立ち上げました。DtPプロジェクトが完成すれば、サヘル地域は世界最大級の太陽光発電地帯になるでしょう。AfDBは、アフリカ大陸における太陽光発電の実績を拡大したことにより、[アフリカ太陽産業協会（AFSIA）](#) から賞を授与されました。

### AfDB、「緑の長城」に65億ドルの拠出を約束

2021年1月、多国間開発パートナーがAfDBに加わり、サハラ砂漠とサヘル地域一帯に長さ8,000km、幅15kmに樹木、草原、草木、植物をモザイク状に植えることを目指すアフリカ主導の「[緑の長城](#)」イニシアティブへの資金提供を約束しました。このイニシアティブの目的は、荒廃した土地を回復し、地域住民が十分な食料を生産し、雇用を創出し、地域の平和促進を支援することです（詳細は5ページを参照）。

### 第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）におけるクリーンエネルギーへの移行に関する円卓会議

2021年1月、「グリーンで手頃な価格のレジリエントな電力システムへの迅速な移行の達成」をテーマに、COP26円卓会議が開催されました。アデシナ総裁は、AfDBが今後は石炭プロジェクトに融資しないことを改めて表明し、戦略的な5つの最優先分野「[ハイファイブズ（High 5s）](#)」の1つである「アフリカの電化」の柱として、再生可能エネルギーを優先することを強調しました。AfDBの発電向け投資に占める再生可能エネルギーの比率は、2020年12月時点で80%です。

## アフリカ大陸におけるCOVID-19危機への対応

2020年初めにCOVID-19パンデミックがアフリカに広がり始めると、アフリカ大陸に多大な経済的ダメージを与えることが明らかになりました。全世界のCOVID-19による死亡者数に占めるアフリカの比率は5%に満たないと推計されていますが、パンデミックに関連するショックはアフリカ大陸における健康、社会、経済構造を揺るがし続けています。これらの影響を軽減し、復興と将来のレジリエンス強化に向けたアフリカ諸国の道筋を一層確固たるものにするためのAfDBの取り組みに揺るぎはありません。

2020年4月、AfDBは柔軟な支援を目的とした「[COVID-19即応ファシリティ \(CRF\)](#)」を設立し、決意を持って迅速に行動を起こしました。CRFは、域内加盟国 (RMCs) がCOVID-19による危機に対処し、その社会的影響を軽減することを支援するための緊急救済策として、ファストトラック承認プロセスを通じて迅速かつコスト効率の高い、的を絞った緊急財政支援を行っています。これらの追加資金は、公衆衛生への支援や社会保護プログラムに活用されると同時に、パンデミック後のマクロ経済の安定やレジリエンスにも貢献します。

### 危機対応財政支援 (CRBS) 事業



COVID-19罹患者を検査・治療するためのRMCsの能力向上

- ▶ 92,000件以上の追加検査を一定期間サポート
- ▶ 10万人以上の医療従事者にトレーニングを提供
- ▶ COVID-19罹患者のための新たな集中治療室264室



ソーシャルディスタンスやロックダウン措置が最も貧しく脆弱な人々に及ぼす影響の軽減

- ▶ 脆弱な1,740万世帯への支援 (数カ月分の水道・電力補助金など)



中小零細企業 (MSME) および民間セクターの保護と失業対策

- ▶ 中小企業 (SME) 240,000社が裨益した事業支援スキームや、課税猶予、公共料金 (電力と水の供給) の削減等の政策措置

### COVID-19パンデミックとの戦い

COVID-19パンデミックがもたらした新たな事業環境に伴う前例のない制約にもかかわらず、AfDBは2020年の融資プログラムの目的を変更し、2020年5月~12月の7カ月間に39カ国で28件、総額37億ドルのCRBS事業を承認しました。

CRBS事業を行う一方で、AfDBは農業セクターにもさらなる悪影響が及ぶ可能性を認識していました。これを受けて、AfDBは農業セクターが直面する具体的な問題に対処するために、CRFの一環として「[Feed Africa Response to Covid-19 \(COVID-19農業対策\)](#)」を率先して策定しました。AfDBは21カ国における39件のプロジェクトを再編して総額3億6,700万ドルを捻出しました。これは、アフリカ諸国がパンデミック禍で食料安全保障と栄養を確保するための対応プログラムに充当されます。

AfDBはCRFの設立準備を進めると同時に、3年物30億米ドルと3年物25億スウェーデン・クローナの「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドという2つの画期的な債券発行を迅速に行いました。これらのCOVID-19ボンドは、CRFに重要な資金を提供するとともに、年齢、性別、地域を超えた包摂的 (インクルーシブな) 成長の促進に焦点を当てたAfDBの10カ年戦略の包括的な目的に沿ったものでもありました。



「アフリカ諸国に対する私たちの支援は、パンデミックが人命、経済、生活に与える影響に対応するために、迅速な支援を提供することに重点を置いています。同時に、AfDBは人的資本への中長期的な投資を提唱しています。すなわち、将来のショックに対するレジリエンスに貢献するためのスキルや機会を人々に与えることです。」

ヘス・ダンフォード  
農業・人的資源・社会開発担当副総裁

## アフリカをより気候レジリエントな未来へ導く

気候変動はアフリカの発展に大きな課題をもたらしていますが、アフリカ大陸におけるグリーン成長投資のためのまたとない機会も提供しています。多くのアフリカ諸国が気候変動の悪影響を受けると予想されているものの、アフリカ大陸は気候レジリエントで低炭素な開発の道筋を追求するための大きな可能性を秘めています。アフリカのいくつかの国は、限られた能力や技術、そして資金不足という課題を抱える中で、気候変動への対応においてすでにリーダーシップを発揮しています。

アフリカ大陸は、世界全体の温室効果ガス（GHG）排出量の4%未満しか排出しておらず、最も脆弱な地域であるにもかかわらず、世界の気候変動対策向け資金の3%しか受け取っておらず、気候変動の課題は深刻です。地理的・経済的要因に加え、農業など気候変動に敏感なセクターへの依存度が高いことも相まって、アフリカ大陸は気候変動の影響を非常に受けやすく、今のところ、世界で最もリスクの高い上位10カ国のうち7カ国がアフリカにあります。このような脆弱性はアフリカ大陸の発展を危うくし、何百万人ものアフリカ人とその生活を脅かしています。

2020年という困難な年を経て、アフリカ大陸はより良いだけでなく、よりグリーンな復興を果たすという使命を担っています。気候変動への取り組みは、COVID-19危機の影響によってこのところ一段と厄介になっている野心的な課題であり、これまで以上の緊急性をもって「気候適応」への取り組みを加速させることが求められています。世界的に見ても、世界の気候変動ファイナンスの93%を受け取っている「気候緩和」と「気候適応」と「レジリエンス」はまだ同等の水準に達していません<sup>3</sup>。アフリカ大陸全土で革新的な気候変動適応策を拡大するために、AfDBと「気候適応グローバルセンター（GCA）」は2021年1月に「アフリカ気候適応加速プログラム（AAAP）」を立ち上げました。AfDBとそのパートナーは2025年までにアフリカの気候適応のために250億ドルを動員することを約束しており、そのうち半分をAfDBが提供します。

気候適応のメリットはコストを大きく上回り、気候適応がなければ気候変動による被害は甚大なものになるでしょう。AAAPは、下の図に示すように、大規模な概念実証を設計する上でのイノベーションを通じて、アフリカにおける気候適応プロジェクトのモメンタムと影響力を大幅に高めることを目指しています。AAAPの下で相互に連携する取り組みは、アフリカの気候適応ギャップの解消に貢献し、気候変動への適応やレジリエンスを促進することでアフリカ諸国の持続可能な開発の道筋を支援します。

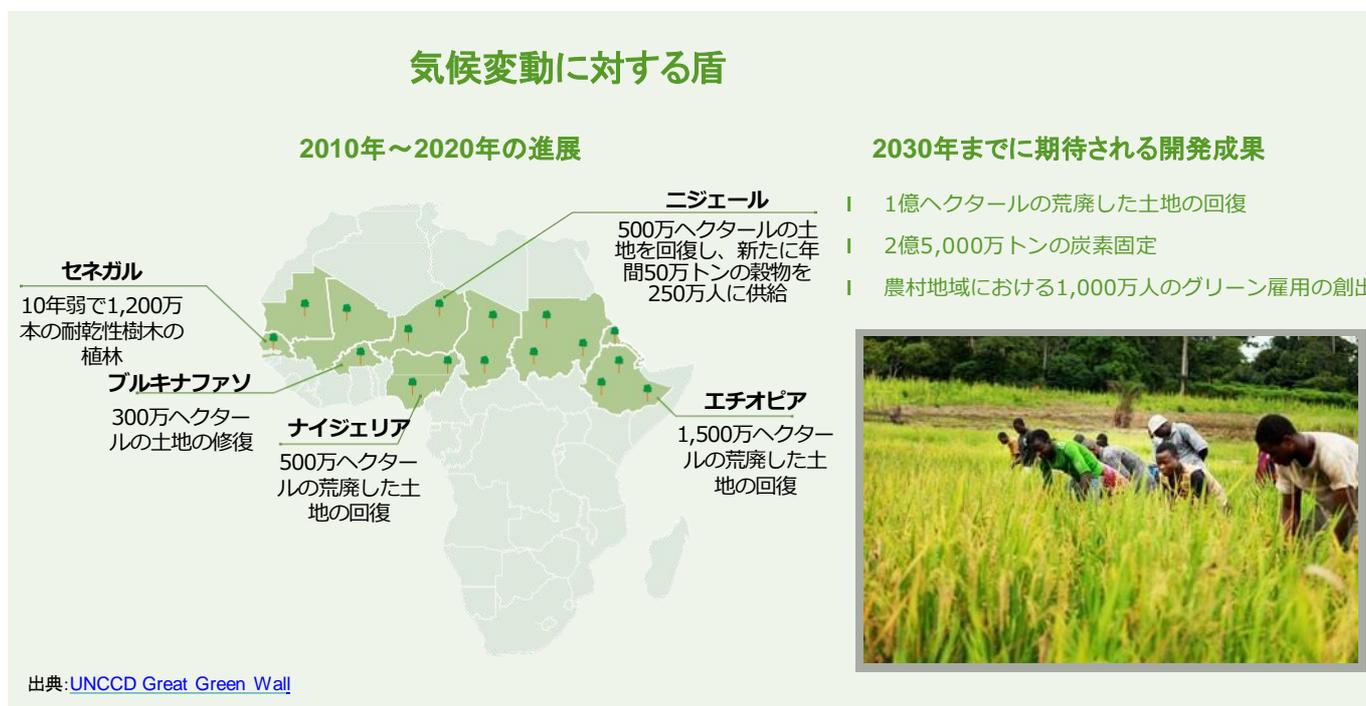
3 [Climate Policy Initiative, Global Landscape of Climate Finance, 2019](#)



## サヘル地域を変貌させるグリーン成長回廊

気候変動による気温上昇や降雨量の変動など極端な気象現象増加するサヘル地域には、11カ国（ブルキナファソ、チャド、ジブチ、エリトリア、エチオピア、マリ、モーリタニア、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、スーダン）に2億5,000万人の人々が生活していますが、干ばつの発生頻度が増えています。

2007年に始まった「[緑の長城](#)」は、サハラ砂漠とサヘル地域一帯で気候変動と戦うためのアフリカの代表的な取り組みです。セネガルからジブチまでの長さ8,000km、幅15kmに、モザイク状に広がる樹木、草原、草木、植物は、食料安全保障の向上、健康の改善、地域社会における数百万人の雇用や所得機会の創出に資するとともに、持続可能な開発の継続を保証するこの地域の平和の可能性を高める基盤となります。



2021年1月、「緑の長城」はこの画期的な取り組みを前進させるために、今後10年間で140億ドル（AfDBから65億ドル、世界銀行から50億ドル、フランス政府から25億ドル）の追加資金の約束を得ました。AfDBはさまざまなメカニズム、パートナーシップ、活動を通じて資金源を拡大し、「アフリカ持続可能エネルギー基金（SEFA）」や「グリーン気候基金（GCF）」など、内外の資金源を活用していきます。

AfDBはサヘル地域を投資の最優先事項とし、アフリカの気候変動に対処する機会への取り組みを前進させるための新たな資金源を動員しています。世界最大の太陽光発電地帯を建設し、2億5,000万人に電力を供給することを目標とする「砂漠から電力へ」や、2025年までにアフリカの食料生産量を1億トン増加させ、4,000万人を貧困から脱却させることを目標とする「[アフリカ農業転換技術（Technologies for African Agricultural Transformation: TAAT）](#)」などの継続的な取り組みは、「緑の長城」を強化・補完し、サヘル地域を機会とインクルーシブなグリーン成長の地へと変えていくでしょう。

## 気候変動とグリーン成長を有言実行

パリ協定のはるか前から、AfDBは気候変動に関する明確な行動指針を打ち出していました。AfDBは2011年から2015年までを対象とした初めての気候変動行動計画（CCAP1）を策定しました。CCAP1は、気候変動への対応とアフリカにおける開発の前進は同時に達成できるという理念に基づいています。

AfDBの2013年から2022年までの10年戦略では、アフリカ諸国のグリーン成長への移行支援とインクルーシブな経済成長の促進という2つの包括的な目標に焦点を当てています。この戦略の達成を加速するために、AfDBは5つの最優先分野「ハイファイブズ（High 5s）」に注力することを決定しました。High 5sは、それをすべての開発パートナーが実践すればアフリカが持続可能な開発目標であるSDGsの約90%を達成する助けとなり<sup>4</sup>、アフリカ連合の「アジェンダ2063」と本質的に結びついています。

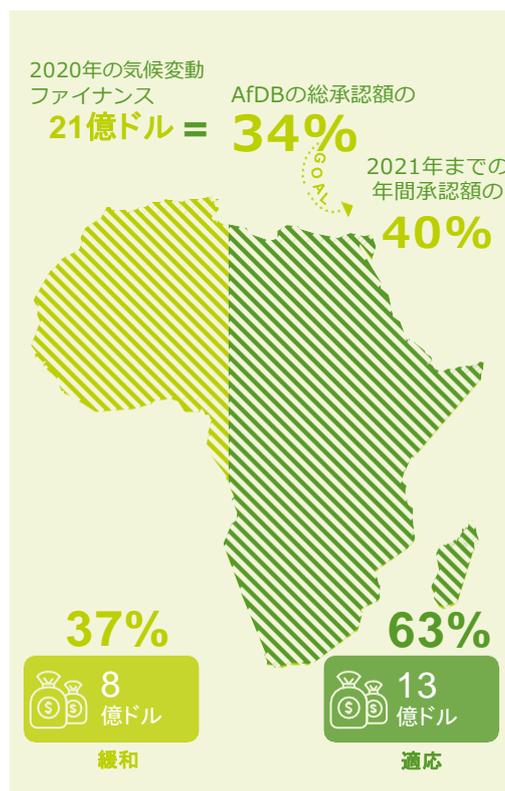


2016年から2020年までを対象期間とした第二次気候変動行動計画（CCAP2）では、気候変動ファイナンスの拡充と、アフリカ各国の「自国が決定する貢献（NDC）<sup>5</sup>」の実施支援に焦点を当てています。2020年12月時点の状況は以下のとおりです。

- アフリカ54カ国のうち52カ国がNDCを採択
- AfDBの承認案件のうち34%が気候変動ファイナンスに関連
- 気候変動がAfDBのプロジェクトの88%を占める主流に
- 再生可能エネルギーがAfDBの電力ポートフォリオの80%にまで増加

AfDBは2021年12月までに気候変動ファイナンスを承認案件の40%まで増加させ、エネルギーアクセス、再生可能エネルギーおよびエネルギー効率化事業、気候スマートな農業、水利用の効率化、GHG排出量の削減を促進することに引き続き注力していきます。

今年は新たな気候変動政策・戦略、そして2021年から2025年までを対象期間とする第三次気候変動行動計画（CCAP3）を導入し、パリ協定に基づくNDCを実施するアフリカ諸国を支援することを目指します。未来に向けて、AfDBは引き続きアフリカにおける気候変動への対応を進展させるための主導的役割を担っていく意向です。2020年から2025年までの間に、AfDBは250億ドルの気候変動ファイナンスを動員することを約束し、そのうち50%が（AAAPの下で）気候適応に、50%が気候緩和に充てられます。その目的は、気候にやさしい投資の策定と実施、他の開発金融機関や民間セクターから追加的資金を獲得する能力の向上によって、アフリカ地域の加盟国を支援することにあります。



### 気候スマートな開発へのファイナンス：2020年の成果



101 MW

再生可能エネルギー  
生産能力



160万トン

回避されたGHG排出量



1億900万ドル

外部の気候関連ファン  
ドからの資金動員

“ アフリカ開発銀行は2019年に気候変動ファイナンスの半分以上を気候適応に充てるという基準を設定しました。一部のドナー国はそれに追随しましたが、すべてのドナー国がそうしなければなりません。 ”

アントニオ・グテーレス国連事務総長

<sup>4</sup> [United Nations Development Program -Strengthening Strategic Alignment for Africa's Development: Lessons from the UN 2030 Agenda for Sustainable Development, the African Union Agenda 2063 and the African Development Bank's High 5s](#)

<sup>5</sup> NDCとは「Nationally Determined Contributions」の頭文字をとったものあり、各国が温室効果ガスの排出量削減、および気候変動に適応するために行うイニシアティブのことです。

# 電力・エネルギー・気候変動・グリーン成長担当副総裁 ケビン・カリウキとの対話

## 1. あなたが率いている電力・エネルギー・気候変動・グリーン成長コンプレックスについて教えてください

電力・エネルギー・気候変動・グリーン成長コンプレックスは、「アフリカのエネルギー普及のための新政策『ニューディール』2016-2025」に基づくAfDBのHigh 5s（5つの最優先分野）の1つ「アフリカの電化」の実現を監督する権限を持つ部署であり、その主な目的はアフリカにおけるエネルギーへのユニバーサルアクセスを促進することにあります。エネルギーセクターの活動には、ソブリン事業（SO）とノンソブリン事業（NSO）のプロジェクト立ち上げと実施および関連する政策対話、NSOの債務ポートフォリオ管理、資源動員の取り組み、「砂漠から電力へ（DtP）」や「気候適応グローバルセンター（GCA）」へのAfDBの貢献のような主要イニシアティブの実施が含まれます。DtPは、サヘル地域に10GWの太陽光発電設備を新設し、世界最大の太陽光発電地帯を形成するとともに、グリッドおよびオフグリッド・ソリューションを通じて2億5,000万人に電力へのアクセスを提供することを目指しています。さらに、この部署は、アフリカにおけるインクルーシブかつ気候レジリエントで低炭素な開発軌道に向けたAfDBの取り組みをリードする役割も担っています。事業において気候変動を主流化し、AfDBのすべての投資が気候情報を取り入れた設計に基づいて行われるようにすることが、これらの取り組みの要となります。

## 2. 気候変動に対するAfDBのコミットメントに、COVID-19はどのような影響を与えましたか

AfDBでは、COVID-19パンデミックに直面しても気候関連の非常事態は減少していないという事実を強く認識しています。世界で最も気候変動の影響を受けやすい上位10カ国のうち7カ国がアフリカにあります。そのため、AfDBの非常に野心的な気候変動目標は依然として変わっておらず、これには事業の100%を気候変動の影響を予防するものにし、年間承認額の40%を気候変動対策ファイナンスに充てるというコミットメントが含まれます。2020年には、COVID-19のために融資目的を変更したにもかかわらず、これらの目標の達成度はそれぞれ88%、34%となりました。2021年にはいずれの目標も100%達成できると楽観しています。

## 3. アフリカは、成長促進、貧困削減、気候変動リスクへの対応を同時に行うことができるでしょうか

はい、そう確信しています。この楽観的見方の根拠は次のようなものです。アフリカは現在、世界で最もエネルギー使用量が少ない地域ですが、所得の増加や急速な都市化を背景に、エネルギー需要の大幅な増加（2040年までに少なくとも2倍）が予想されています。一方、アフリカ大陸には膨大な未開発のグリーンエネルギー源があります。



例えば、年間325日の晴天から得られる10TWの潜在的な太陽エネルギーのうち利用されているのはわずか1%に過ぎず、アフリカの水力（350GW）および地熱（15GW）は10%未満しか利用されていません。したがって、アフリカにはエネルギー転換の大部分をよりクリーンでグリーンな道筋にリセットし、そうすることで同時に気候リスクに対処する大きなチャンスがあります。インクルーシブな成長の重要な原動力として、主に再生可能エネルギーに基づいて、ユニバーサルなエネルギーアクセスを実現すれば、都市部と農村地域の両方で間違いなく貧困が削減されるでしょう。

## 4. プロジェクトの実施プロセスにおいて、AfDBは持続可能性の問題にどのように取り組んでいるのでしょうか

当行には、プロジェクトの設計・実施プロセスにおいて統合セーフガードシステム（ISS）などのESGツールを採用し、ESGセーフガードを適用してきた豊富な経験があります。ISSは、当行のESG基準を満たすプロジェクトのみが実施されることを保証するためのステージゲートを設けるとともに、持続可能性の出口戦略が欠けている場合にはそれに対処するための改善・是正メカニズムも提供しています。気候リスク管理のために、

当行では**気候セーフガードシステム**などのツールを導入し、気候に関する情報に基づいて持続可能な方法で事業を設計するようにしています。また、温室効果ガス（GHG）会計・報告ツール<sup>6</sup>を適用し、GHG排出量削減に対する事業の貢献度を審査しています。

## 5. これまでのアフリカ大陸におけるグリーン成長への移行の進捗状況をどのようにみていますか。10カ年戦略の目標達成に向けて順調に進んでいますか

まず、当行は再生可能エネルギー発電投資の割合を2011年～2019年の7%から増やしており、2016年～2019年には80%まで拡大しました。これは、2010年から2019年までの間にアフリカの再生可能エネルギー発電設備容量が77%増加したことと密接に相関しています。このことは、当行がこの移行の中心にいることを示す証左であり、アフリカ大陸のグリーン成長への移行が間違いなく進行中で、経済成長が環境破壊を引き起こしていないことを証明しています。

エネルギーセクター以外では、サヘル地域と「アフリカの角」地域における干ばつレジリエンスと持続可能な生計プログラム、2025年までに食料生産量を1億トン増加させ、4,000万人を貧困から救うことを目的とした「アフリカ農業転換技術（TAAT）」プログラム、インクルーシブな成長と貧困削減を促進する女性農業起業家向けの「アフリカの女性のための積極的金融アクション（AFAWA）」融資ファシリティなどのプログラムがあると承知しています。以上で述べたことは、質問4への回答と合わせて、当行が10カ年戦略の下で開発目標の達成に向けて順調に進んでいることを裏付けています。

## 6. グリーン成長に向けた取り組みは進んでいますが、気候適応ファイナンスは世界的にまだ大幅に不足しています。アフリカにおけるファイナンス不足に対処するためのAfDBの戦略はどのようなものですか

パリ協定で、先進国は2020年までに年間1,000億ドルを途上国の気候緩和・適応行動のために拠出することを約束しました。この約束は果たされておらず、気候緩和及び適応の取り組みを最初から制限しています。一方、世界のGHG排出は2020年時点ですでに年間70億～150億ドルの適応コストをアフリカに強いており、地球の気温上昇が2℃以下に抑えられるという最も楽観的なシナリオ下でも、このコストは年間500億ドルに達します。

したがって、アフリカにおける気候適応ファイナンス不足に対処するために、当行は2015年以降、適応ファイナンスとして65億ドルを投資しています。さらに、適応のために125億ドルの拠出を約束しており、これは「気候適応グローバル・センター」と共同で実施しているAAAPを通じて動員されます。この125億ドルは、2020年～2025年に気候変動ファイナンスのために250億ドルを拠出するという当行の約束全体の半分に相当します。

## 7. AfDBのテーマである「より良く、よりグリーンな復興」のために、COVID-19後の復興に向けて、どのような戦略が考えられていますか

アフリカを代表する開発金融機関として、当行はCOVID-19がRMCsに与えた社会経済的影響を持続可能な形で軽減し、人々の生活の回復する責任を負っています。したがって、COVID-19後の未来に向けて、当行は「より良く、よりグリーンな復興」を果たすため、以下のような気候関連の取り組みを活用していくつもりです。

- 気候災害に対する早期警報システム、保険料の支払い、またはソブリン保険の適用を可能にする能力を構築することで、災害後の救済措置ではなく、気候ショックに対するレジリエンスとタイムリーな対応を促進する「アフリカ災害リスク・ファイナンス（ADRIFI）プログラム」。
- アフリカ全域の低炭素で気候レジリエントな開発に向けて、民間資本フローを動員するための「アフリカ気候変動金融同盟（AFAC）」。
- 「アフリカのためのグリーン刺激プログラム」。現在、アフリカ連合や他のパートナーと共同で策定中のこの取り組みは、アフリカの変革とより持続可能な開発の道筋のために（すなわち、アフリカのより良く、よりグリーンな復興を支援しながら）、COVID-19に対するアフリカの協調的な対応を構築することを目指しています。
- 「気候変動・グリーン成長戦略枠組」：当行は現在、気候変動とグリーン成長に関する新たな戦略枠組を策定しています。この枠組では、今後10年間のアフリカの低炭素かつ気候レジリエントな経済発展を支援するために、これまでの枠組の10年間に及ぶ気候変動対策の実施経験を踏まえつつ、気候変動とCOVID-19との結びつきに関する教訓も盛り込む予定です。

## 8. COP26において、AfDBはアフリカの事例を紹介する役割をどのように果たすつもりですか

COP26は、2015年にパリ協定が採択されて以来、最も重要な締約国会議（COP）であり、各国が強化されたNDCを通じて気候変動に関する野心的取組を強化することが期待される5年間の節目となります。COP26では、気候変動対策を強化するための各種の気候基金へのアフリカのアクセス向上を支援する、アフリカ主導の旗艦プログラムを紹介する予定です。また、気候変動に関するアフリカ共通の立場の下、COP26におけるアフリカの声を敷衍するために、アフリカの気候変動における交渉主体をサポートしています。アフリカ連合委員会をはじめとするアフリカのステークホルダーと共にアフリカン・パビリオンを共同で設置するほか、他の国際開発金融機関（MDBs）と共同で戦略的イベントを開催し、パリ協定の目標に沿った事業展開を目指して連携して取り組んでいきます。

6 AfDBは、プロジェクトの潜在的なGHG排出量を評価し、緩和策を提言するために、内部のGHG会計・報告ツールを使用しています。このExcelベースのツールによって、AfDBが資金提供するプロジェクトの建設、運営、廃止に伴うGHG総排出量を推定することが可能です。

## SDGs達成に向けた女性のエンパワーメント

アフリカの女性は金融へのアクセスにおいてさまざまな課題に直面しており、ビジネスバリューチェーン全体で420億ドル、そのうち農業だけで160億ドルの資金調達ギャップがあると推計されています。気候変動リスクに対する脆弱性を低減し、貧困と戦い、SDGsを達成するためには、女性に力を与え、社会経済的成長により深く関与できるようにすることが不可欠です。AfDBは、さまざまな取り組みによってギャップを解消することを繰り返し表明しています。

AfDBの事業におけるジェンダー主流化のアプローチを体系化するための内部審査ツール「[ジェンダー・マーカー・システム \(GMS\)](#)」を使って分類されたAfDBのソブリン事業の割合は、2019年の60%から2020年には98%に上昇しました。GMSは2020年に重要業績評価指標として導入され、AfDBの成果測定フレームワークに反映されています。

2020年には、「COVID-19即応ファシリティ」の下で承認されたすべての事業がGMSを用いて分類され、女性が経営する企業を支援するための金融商品や革新的な融資スキームの開発、病気の家族を介護する女性のための疾病予防情報や物資の提供、そして子どもの教育の継続や中途退学の低減を実現し、女性の水へのアクセスを確保し、水汲み場でのソーシャルディスタンス遵守を促進するための革新的な技術ベースのソリューションといった施策が行われました。

アフリカ全土でのジェンダー平等と女性のエンパワーメントというアジェンダを加速させるため、AfDBはインクルーシブな資金へのアクセス向上に焦点を当てた旗艦プログラム「[アフリカの女性のための積極的金融アクション \(AFAWA\)](#)」を立ち上げました。AFAWAの目標は、資金ギャップを埋め、2026年までに最大50億ドルの融資を実現して、女性の起業家としての能力と可能性を最大限に引き出すことにあります。

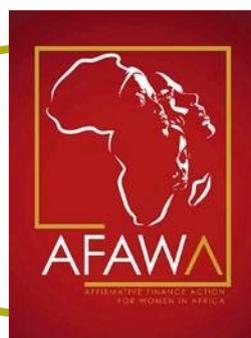
### アフリカにおける男女間の信用格差



AfDBグループの「[ジェンダー戦略2021-2025](#)」は、インクルーシブな成長を促進し、スキル向上を通じて女性の雇用可能性と雇用創出を加速させ、インフラを通じて女性の社会サービスへのアクセスを拡大させるために、女性への投資に焦点を当てています。

#### AfDBの金融商品

AfDBは、すべてのソブリン事業とノンソブリン事業においてAFAWAを主流化しています。シニアローン、クレジットライン、貿易金融、エクイティファンドによって、最大20億ドルの資金調達が見込まれています。



#### AFAWA成長保証プログラム

2020年に承認された革新的な保証メカニズムであり、女性起業家のリスクを低減し、金融機関にインセンティブを与えることで、第1段階では女性が経営する企業18,000社に最大20億ドルを融資します。

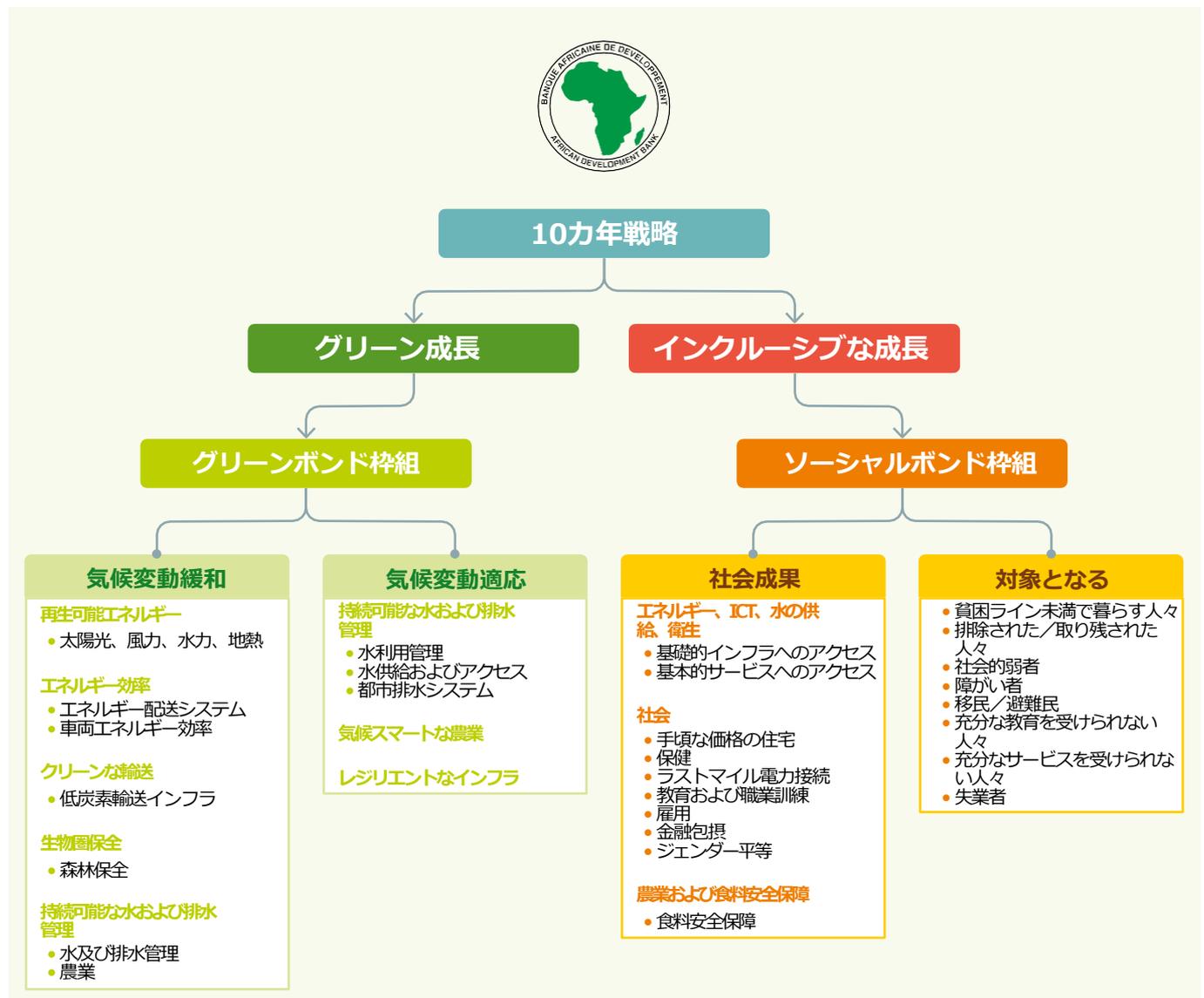


# アフリカでSDGsを達成に導く グリーン&ソーシャルボンド・プログラム

AfDBのグリーンボンド・プログラムとソーシャルボンド・プログラムはそれぞれ2013年と2017年に立ち上げられ、アフリカ諸国のグリーン成長への移行を支援し、インクルーシブな成長を促進するというAfDBの10カ年戦略の目的に沿うものです。これらのプログラムはアフリカにおいて数多くのSDGsに取り組んでおり、特にアフリカの経済や社会の発展に深刻な脅威をもたらす気候変動の文脈において、持続可能な開発に向けたアフリカの行動を支援しています。

AfDBのグリーンボンド枠組とソーシャルボンド枠組は、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則（GBP）とソーシャルボンド原則（SBP）に準拠しています。これらの枠組の中で、AfDBのグリーンボンドとソーシャルボンドの収益は、財務部門が事業運営チームや気候変動・グリーン成長部門と共同で慎重に選考と審査を行い、適格とされた特定のグリーンプロジェクトやソーシャルプロジェクトへの資金提供に活用されています。

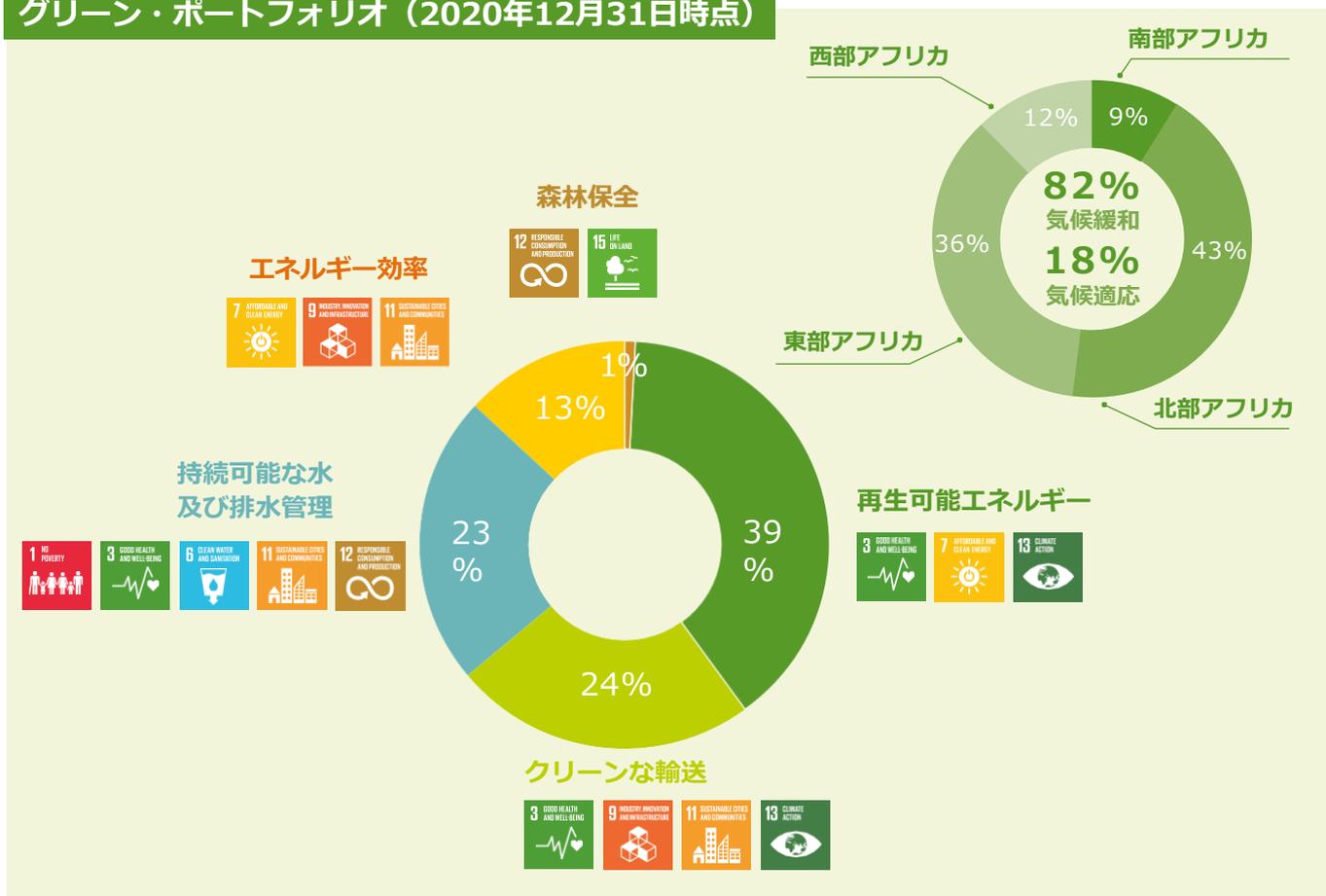
AfDBは、グリーンボンドおよびソーシャルボンド・プログラムが市場のベストプラクティスを満たし、ESG投資家のニーズに対応していることを保証するために、サステナブルボンド市場の主要なプレーヤーと定期的に意見交換をしています。AfDBはGBP/SBPエグゼクティブ委員会のメンバーであり、グリーンボンド市場とソーシャルボンド市場の発展の基礎を形作るプロセスに関する議論に参加しています。



# AfDBのグリーン、ソーシャル、COVID-19ボンド ポートフォリオ

14カ国の33件の適格グリーンプロジェクト<sup>7</sup>を通じて28億ドルの気候変動ファイナンスを提供

## グリーン・ポートフォリオ (2020年12月31日時点)

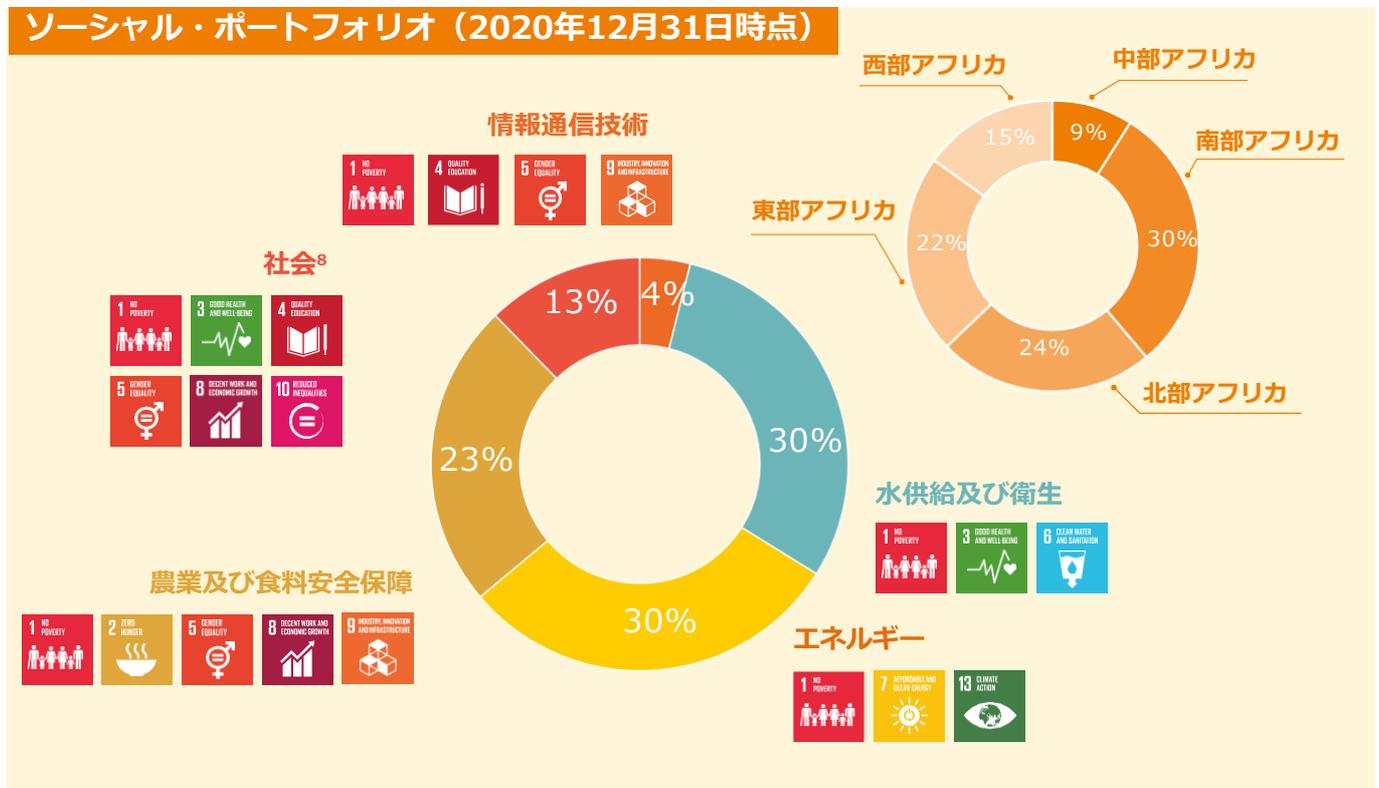


## 最近承認された主要なグリーンプロジェクト

<a href="#">シャブルジ・パロ ンジ太陽光発電</a>	エジプト	緩和	再生可能エネルギー	エジプト太陽光発電固定価格買取プログラム・ラウンド2の下で、50MWの太陽光発電所の設計、建設、操業を行うプロジェクト。ラウンド2で、エジプト政府は2,300MWの太陽光発電プロジェクトの実施を目指している。このプログラムは、エジプトの発電容量の拡大、エネルギーミックスの多様化、燃料の節約、二酸化炭素排出量の削減を可能にする。
<a href="#">ダカール-ディアムニア ディオ-ブレース・ジャー ニュー空港 (AIBD) 区間鉄 道プロジェクト-フェーズ I</a>	セネガル	緩和	クリーンな輸送	ダカールからブレース・ジャーニュー国際空港までを結ぶ57kmの鉄道建設プロジェクト。1日当たり11万3,000人の乗客の輸送が可能となる。これにより、ダカール市民の移動時間が短縮されて生活の質が向上するとともに、GHG排出量の削減に貢献する持続可能な交通手段が提供される。
<a href="#">スウェイク多目的水開発プ ログラム (フェーズI) - 追加ファイナンス</a>	ケニア	適応	持続可能な水および排水管理	洪水対策や干ばつ管理に対応するとともに、130万人のニーズを満たす貯水量の増加、4万ヘクタールの灌漑、20MWの水力発電を可能にする多目的ダム・プロジェクト。
<a href="#">産業開発・アクセス拡大プロ ジェクト向けメケレ・ダロル およびセメラ・アフデラ間の 電力供給</a>	エチオピア	緩和	エネルギー効率	水力発電所から遠隔地に電力を輸送するための、2基の230kV送電線および変電所2カ所の建設プロジェクト。完成後には、地方の36自治体が手頃な価格の持続可能な最新のグリッドベースの電力供給を受けられるようになる。
<a href="#">フォーム・ガーナ社による森 林再生プロジェクト</a>	ガーナ	適応	森林保全	11,700ヘクタールの持続可能な商業植林で現地植生とチークの植樹により、荒廃した森林を回復することを目的としたプロジェクト。

<sup>7</sup> グリーンプロジェクトの適格基準は、AfDBの[気候変動ファイナンス・トラッキング手法](#)と連動しています。

23カ国の72件の適格ソーシャル・プロジェクトを通じて79億ドルの社会開発にコミット



最近承認された主要なソーシャル・プロジェクト

<a href="#">マンジニ地域水供給および衛生プロジェクト</a>	エスワティニ	水供給及び衛生	マンジニ地域とその周辺地域の飲料水需要を満たし、適切な衛生サービスを通じて地下水の環境汚染リスクを軽減することを目的としたプロジェクト。
<a href="#">エネルギーセクター効率化・拡大プログラムフェーズ I</a>	アンゴラ	エネルギー	電力網の拡大を通じてアンゴラを送配電システムを強化するとともに、収益の向上を図ることを目的としたプロジェクト。電力へのアクセスの改善は、産業の活性化、経済発展の加速、雇用創出の促進につながる。
<a href="#">ザガン県の農業サブセクター開発・促進プロジェクト</a>	チュニジア	農業及び食料安全保障	開発に多額の官民投資が必要な農業サブセクターを振興することで、生産と生産性の向上、製品開発（加工、包装、認証など）の機会増大、および失業、貧困、不平等の削減を目指すプロジェクト。
<a href="#">技術系および工学系スキル構築支援プロジェクト</a>	チュニジア	社会	技術系および工学系新卒者の就業可能性を高めることを目的に、民間セクターのニーズおよび国際的バリューチェーン参入という国家目標を満たすような技能の高い労働力に研修を行うプロジェクト。
<a href="#">ルワンダ・イノベーション・ファンド</a>	ルワンダ	情報通信技術	成長企業向け資金調達メカニズムの整備、テクノロジー系中小企業向けエクイティ・ファイナンス、テクノロジー系起業家向けトレーニングの提供により、ルワンダ及び東アフリカのテクノロジー系企業が直面する資金ギャップの解決を目指すプロジェクト。150社への支援及び初期成長段階の20社への投資が見込まれる。

8 社会セクターのプロジェクトは、健康、教育、職業訓練セクターのプロジェクトと定義されています。

## COVID-19ポートフォリオ（2020年12月31日時点）

2020年に発行されたAfDBの「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドによる調達資金は、AfDBが「COVID-19即応ファシリティ（CRF）」で承認したプロジェクト12件<sup>9</sup>のポートフォリオの一部に充当されました。これらのプロジェクトには、2020年に総額21億ドルが全額支払われました。このファシリティの下で特に資金が充当されていないポストCOVID-19復興プロジェクトも、このポートフォリオに追加される可能性があります。

### 12件のCOVID-19関連プロジェクトを通じて2020年に21億ドルをコミット

プロジェクト	国	通貨	プロジェクト総額 (百万)	AfDBによる融資額 (百万)
<a href="#">COVID-19危機対応支援プログラム</a>	カーボベルデ	ユーロ	107	30
<a href="#">COVID-19危機対応財政支援プログラム</a>	カメルーン	ユーロ	449	88
<a href="#">COVID-19対応支援プログラム</a>	コートジボワール	ユーロ	75	75
<a href="#">COVID-19対応財政支援プログラム</a>	ガボン	ユーロ	499	101
<a href="#">COVID-19緊急対応支援プログラム</a>	ケニア	ユーロ	1,470	188
<a href="#">COVID-19危機対応財政支援</a>	モーリシャス	ユーロ	1,340	188
<a href="#">COVID-19対応支援プログラム</a>	モロッコ	ユーロ	264	264
<a href="#">COVID-19危機対応財政支援プログラム</a>	ナイジェリア	米ドル	5,188	289
<a href="#">緊急COVID-19対応支援プログラム</a>	セネガル	ユーロ	88	88
<a href="#">COVID-19危機対応財政支援プログラム</a>	セーシェル	米ドル	71	10
<a href="#">COVID-19対応支援プログラム</a>	南アフリカ	南アフリカランド	5,490	5,008
<a href="#">社会的包摂と雇用を通じたCOVID-19対応支援プログラム</a>	チュニジア	ユーロ	180	180



<sup>9</sup> このプロジェクト・リストには、2020年にAfDBに承認されたCOVID-19関連プロジェクトのみが含まれています。アフリカ開発基金はさらに多くのプロジェクトを承認しましたが、これらはAfDBのCOVID-19ボンド発行による資金提供を受けていないため、このポートフォリオには含まれていません。

## 最近のESG債発行

AfDBはグリーンbond及びソーシャルbondの起債に際し、ますます多くの質の高いESG投資家の関心を集めています。市場環境が許す限りグリーンbondとソーシャルbondを少なくとも年に1回は発行するという公約の下、サステナブルbond市場におけるAfDBの活動は投資家に価値ある多様性を提供しています。最近いくつかの先駆的なESG取引を開拓したことは、この市場に対するAfDBの貢献を示すものです。

### アフリカ初のCOVID-19bond発行



2020年  
30億米ドル  
3年物  
「COVID-19  
と戦う」ソ  
シャルbond  
2023年4月償還



2020年  
1億米ドル  
3年物  
「COVID-19  
と戦う」ソ  
シャルbond  
2023年4月償還  
トップ発行



2020年  
25億SEK  
3年物  
「COVID-19  
と戦う」ソ  
シャルbond  
2023年4月償還

発行時点で過去最大の  
ソーシャルbond

スウェーデン  
市場初のソ  
シャルbond

### グリーン&ソーシャルbond発行



2021年  
10億SEK  
5年物  
グリーン  
bond  
2026年4月償還



2021年  
10億NOK  
5年物  
ソーシャル  
bond  
2026年4月償還



2021年  
6億豪ドル  
5.5年物  
カンガルーソ  
シャルbond  
2026年12月償還



2021年  
20億SEK  
5年物  
ソーシャル  
bond  
2026年9月償還

SEK建てグリーンbondと  
NOK建てソーシャルbondの  
デュアルトランジエ

豪ドル建て  
ソーシャル  
bond

## 2021年のハイライト – カンガルー市場におけるESG債発行 意欲の高まり

2021年6月、AfDBは6億豪ドルの5.5年物カンガルー・ソーシャルbond（2026年12月償還）を発行し、2018年初め以来の豪ドル債市場への復帰を果たしました。この取引はAfDBが豪ドル市場で発行した最大のカンガルー債であり、熱心な投資家に報いる機会と、希少なソーシャルbond取引に新規投資家が参加する機会を提供しました。

この起債の説得力のある社会的側面が、国内および地域投資家からの旺盛な需要を喚起しました。この取引には30件以上の投資家が参加し、入札総額は7億7,500万豪ドルを超えました。オーストラリアから多くの投資家が参加して需要の41%を占め、AfDBの豪ドル取引では過去最高の国内参加率となりました。一方、参加者の38%をESGへの関心が高い投資家が占めました。

これまでにAfDBがカンガルー市場で発行したESG債は、2026年12月償還のソーシャル・カンガルー債、2027年9月償還のテーマ型債券「アフリカの工業化」カンガルー債、2031年12月償還のグリーン・カンガルー債の3本です。

「2020年に発行した画期的な31億米ドルの3年物『COVID-19と戦う』ソーシャルbondに続き、カンガルー債市場のような国内の公開市場でも今や熱心なESG投資家からの関心が同様に高まっていることを喜ばしく思います。これに勢いを得て、私たちは過去最大の豪ドル建て取引を行うことができました」。ハサトウ・ンセラ アフリカ開発銀行グループ財務局長

AfDBは将来的に豪ドル建てソーシャルbondの発行を増やす意向です。「ここには好循環があります。この取引はオーストラリアと海外における当行の投資家基盤を再確認し、拡大するとともに、希少なESG投資へのアクセスを提供しました。他の機関も追随し、再度発行する機会があることを願っています」。キース・ワーナー アフリカ開発銀行資本市場部門マネージャー

## 2020年のハイライト – 米ドル建て「COVID-19と戦う」ソーシャル ボンド発行

2020年3月、AfDBはパンデミックが人々の生活やアフリカ経済に及ぼす影響を軽減するために、3年物の「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドの発行により、30億米ドルを調達しました。発行時のスプレッドはミッドスワップ+35bp（CT3+47.95bpに相当）で、利率は0.75%です。この起債は46億米ドルの注文を集めて大幅な応募超過となり、96件の投資家が参加しました（うち20件はAfDBの取引に初参加でした）。

ESG投資家からの活発な参加がありました。



「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドは、発行時点で世界最大のソーシャルボンドであったほか、AfDBにとって米国市場で発行した初のソーシャルボンドであり、過去最大のベンチマーク債となりました。この債券はルクセンブルク証券取引所とロンドン証券取引所に上場され、AfDBにとってはロンドン証券取引所への初上場となりました。また、この債券はナスダックのサステナブルボンド・プラットフォームにも登録されています。この画期的な「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドにより、AfDBはグローバル・キャピタル社「COVID-19ボンド最優秀発行体」に選ばれました。

### ロンドン証券取引 所への初上場



### 「COVID-19ボ ンド最優秀発行体」



### ナスダックのサステナブル ボンド・プラットフォーム に登録



© Nasdaq 2021

「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドは、COVID-19の感染拡大によって引き起こされた複数の課題を克服しようとしているアフリカのコミュニティを支援するための対応の一環です。その調達資金はAfDBのソーシャルボンド・プログラムに沿って配分され、この未曾有の時期にCOVID-19の悪影響に立ち向かう国や企業への支援や融資に充てられます。より具体的には、2020年4月に承認されたAfDBの「COVID-19即応ファシリティ（CRF）」の下で承認されたプロジェクトの財源の一部として活用されます<sup>10</sup>。「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドによって賄われたプログラム、プロジェクト、施設は社会開発の成果が大きく、アフリカの人々の生活にプラスの影響を与えています。この資金提供の目的は、基本的な医療サービスへのアクセスを促進し、医療システムを強化し、ソーシャルディスタンスやロックダウンが最も弱い立場にある人々に及ぼす影響を軽減することにあります。また、中小企業を対象に、雇用喪失を防ぎ、今回の健康・経済危機の影響を受けた人々を支援します。

10 CRFは2020年12月に終了しており、このファシリティの下で特に資金が充当されていないポストCOVID-19復興プロジェクトも、このポートフォリオに追加される可能性があります。

## グリーンボンドの配分

2013年にグリーンボンド枠組を立ち上げて以来、米ドル、スウェーデンクローナ（SEK）、豪ドル建てのグリーンボンドを10本起債し、約27億ドルを調達しました。

### 発行済みグリーンボンドの配分（2021年9月30日時点）

5本の発行済み  
グリーンボンド  
をグリーンプロ  
ジェクトに全額  
配分



AfDBのグリーンボンドの調達資金は、環境面で大きなメリットがあり、低炭素化の促進（GHG排出量の大幅削減につながる気候緩和プロジェクト）、または気候レジリエントな開発（適応能力やレジリエンスの維持・向上によって、気候変動に対する人間や自然界の脆弱性を軽減する適応プロジェクト）のいずれかに完全に適合する適格プロジェクトへの資金提供に活用されます。

## ソーシャルボンドとCOVID-19ボンドの配分

2017年にソーシャルボンド枠組を立ち上げて以来、ユーロ、ノルウェークローネ（NOK）、米ドル、スウェーデンクローナ（SEK）、豪ドル建てのソーシャルボンドを8本起債し、約65億ドルを調達しました。

### 発行済みソーシャルボンドの配分（2021年9月30日時点）<sup>11</sup>



6本の発行済みソーシャルボンド

2本の発行済みCOVID-19ボンド

AfDBのソーシャルボンドの調達資金は、社会的に大きな影響と成果をもたらし、貧困の削減やインクルーシブな成長につながる適格プロジェクトへの資金調達に活用されます。これらの成果のうち目に見えるものとしては、手頃な価格の基礎的インフラ（電力、水と衛生、交通）へのアクセス改善、基本的サービス（医療、教育、職業訓練）へのアクセス改善、金融サービスへのアクセス改善、手頃な価格の住宅、雇用創出、食料安全保障、社会経済的発展とエンパワーメントなどが挙げられます。

11 米ドル建て「COVID-19と戦う」ソーシャルボンドの調達資金はCOVID-19関連プロジェクトに全額は割り当てられていません。これはプロジェクトの支出を賄う上で、調達された米ドルがまだユーロに交換されていないためです。

\* 2021年9月10日発行。

# 変革をもたらすグリーン、ソーシャル、COVID-19プロジェクト

## グリーンゾーン開発支援プロジェクト - フェーズ2

### ケニア



セクター：森林保全  
承認年：2018年



#### 資金提供源：



### 気候変動レジリエンスのための森林保全の推進

このプログラムでは、荒廃した森林の再生、森林インフラの持続可能な開発、保全と商業化のための竹の利用促進、各郡のコミュニティの生活向上を通じて、森林面積と家計所得を増やすことに重点的に取り組みます。

このプロジェクトは森林法に基づいて設立された4つの森林保護区に広がる15の郡で実施されます。これらの郡は、森林荒廃、社会・経済・環境の脆弱性のレベルに基づいて選ばれました。一部の農村地域では、森林周辺世帯の所得の75%が森林からもたらされています。ケニアにおける森林被覆率の低さ（2017年の推定値は7.4%）は、不十分な水供給や、農業生産に悪影響を及ぼす有害な気候変動と関連しています。

コミュニティの生計支援として、このプロジェクトでは、木材や竹の伐採、園芸・穀物バリューチェーンの開発を支援し、家計所得と食料安全保障の向上を目指します。効率的な生産、加工、技術活用、マーケティングインフラの整備、能力向上をサポートするほか、その他のさまざまな所得創出活動で森林保全に取り組むコミュニティグループを支援します。現在農村人口の80%が使用している調理用木材燃料への過度の依存を改善するために、エネルギー効率の高い技術や代替エネルギー源を導入することを主として推奨しています。

期待されるプロジェクト成果としては、対象となる森林生態系の炭素固定量の増加や水涵養能力の増進など、環境便益の向上が挙げられます。このプロジェクトは生計向上を通じて貧困を削減し、最終的には気候変動に対する国のレジリエンス強化に貢献することが期待されています。



### 期待される開発成果

- 501,249人が裨益
- 年間平均世帯収入が550ドル増加
- 特定の作物バリューチェーン（ジャガイモ、トウモロコシ、豆類、果物）の生産およびマーケティングが788,000トン増加
- 炭素固定量が3億500万MtCO<sub>2</sub>増加
- 森林面積が32.7万ヘクタール増加

## バリューチェーン開発のための水の蒸発処理プロジェクト

### セネガル



セクター：水および排水管理

承認年：2019年



資金提供源：



### 水管理による持続可能な経済成長の実現

このプロジェクトの目的は、地表水と地下水を持続可能な形で活用することで、農村地域の農業生産、雇用、所得を増やすことにあります。

貧困率が総じて60%を超えるプロジェクト実施地域の特徴は、灌漑地の面積が小さいこと、塩害、酸性化、干ばつにより土壌肥沃度が持続的に低下していること、そして特に女性や若者にとって生産、加工、農村起業インフラへのアクセスが限られていることです。これらの問題は現在、農業を強化し、農業セクターの競争力を高め、人々の生活水準を向上させる上での大きな障害となっています。

このプロジェクトは水の蒸発処理を通じて、気候スマートな農業の発展に貢献し、コメや市場園芸などの有望分野におけるバリューチェーン構築を促進します。また、灌漑の支援、新技術を利用した生産コストの低減、能力開発、若者による農村における起業機会の創出、環境保護にもつながります。

期待されるプロジェクト成果としては、水管理や劣化した土地の回復による気候リスクの緩和、農業・樹木栽培・牧畜・水産養殖の生産量と収入の増加、生産地域へのアクセス向上、貯蔵・保存・加工インフラの改善、若者や女性の雇用と起業の促進などが挙げられます。

最後に、灌漑設備や塩害対策設備の建設による水管理の改善に貢献するとともに、異常な降雨、気候の変わりやすさ、制御不能な降雨開始時期、地球温暖化などを特徴とする気候変動の悪影響に対する人々のレジリエンスに貢献します。



### 期待される開発成果



• 30万人が裨益



• 12,730ヘクタールの土地の灌漑と農業用開発  
• 3,800ヘクタールの土地の回復または保護



• 道路100kmの建設または修復



• 農業生産による受益者1人当たり1,800ドルの所得増加  
• 若者が経営する中小企業5,000社を育成または創出  
• 16,000人の生産者を支援



• 28,000人の雇用創出  
• 200人の技術者にトレーニングを提供

## 漁業・養殖セクターのバリューチェーン構築支援プロジェクト

### 赤道ギニア



セクター： 農業  
承認年： 2019年



#### 資金提供源：



### 漁業、養殖、飲料水供給インフラの改善による食料安全保障と生活環境の向上

このプロジェクトの目的は、養殖、零細漁業、産業漁業の持続可能な発展を通じて魚類生産を増加させるとともに、飲料水・衛生インフラを強化することにあります。

赤道ギニアの経済は、国民が消費するための食料の多くを輸入に頼っていることを特徴としており、2017年だけで2,000万ドルを超える冷凍魚を輸入しています。魚類で約74,000トン、甲殻類で約600トンと推定される大きな漁獲能力があるとみられるにもかかわらず、現在の国内生産量は不十分で、潜在力の0.7%しか利用されていません。

このプロジェクトの実施によって、国内市場への魚の供給が改善され、食料輸入が減少し、周辺地域諸国への輸出が拡大し、漁師の収入が増加し、若者の雇用が改善されるほか、プロジェクト対象地域の34の村に50の掘削井戸と150のトイレが提供されることで、飲料水と衛生設備へのアクセスが改善されます。

個人の漁業者及び産業としての漁業バリューチェーンや水産養殖の生産地を開発することで、対象となる人々の食料安全保障や生活環境の改善にも貢献します。

さらに、漁業管理の改善は、様々な形で劣化している同国及び周辺国の水産資源や河川・海洋生態系のより持続可能な管理に貢献します。



### 期待される開発成果

- 73.9万人が裨益
- 年間漁業生産量が19,126トン増加  
 水産物輸入が1,100万ドル減少
- 2,125世帯に飲料水を供給
- 慢性栄養失調率が6%減少
- 新規の中小零細企業500社を支援  
1.5万人の雇用創出 – うち70%が女性と若者  
1,620人にトレーニングを提供

## 政府による社会プログラムへの支援プロジェクト

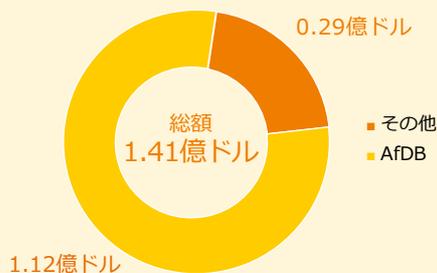
### コートジボワール



セクター：社会  
承認年：2019年



#### 資金提供源：



### 脆弱な世帯の基本的社会サービスへのアクセスを促進

このプロジェクトの主な目的は、2018年に採択されたコートジボワール政府による社会プログラムの成果・インパクトの達成に向けた取り組みを支援することです。このプログラムの下で、政府は基本的社会サービスへのアクセスを容易にし、家計の支出を減らすことで、生計を改善することを目指しています。

このプロジェクトは基本的サービス、特に医療、飲料水、社会サービスへの農村コミュニティのアクセスを改善することで、社会経済改革を加速させます。また、農業生産や加工を支援し、若者の労働市場へのアクセスを容易にすることで、農村住民や若者の生活環境を改善します。

期待される主な成果としては、農村の道路や水利施設の維持・修復、医療施設や社会福祉センターの改修、村の水供給の改善、市場向け菜園やキャッサバ生産者への生産キットの配布を通じた食料安全保障の向上、若者の雇用前実習の支援、変革をもたらす中小企業への融資などが挙げられます。



### 期待される開発成果



• 350万人が裨益



• 年間生産量が28万2,300トン増加し、2万人の農民が恩恵を享受  
• 7,874個の市場向け菜園およびキャッサバ生産キットを配布



• 4,026本の農村道路の修復と、200の村へのアクセス改善



• 飲料水へのアクセスが23%増加



• 医療サービスの利用が17%増加



• 変革をもたらす中小企業1,360社に融資



• 26,100人の雇用創出  
• 2万人の実習生の雇用可能性が向上  
• 8,820人にトレーニングを提供

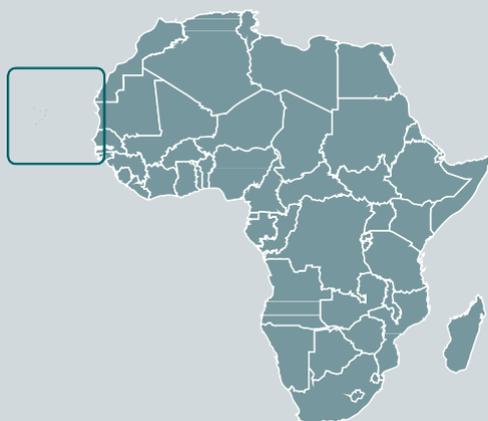
## COVID-19危機対応支援プログラム

### カーボベルデ



セクター： COVID-19

承認年： 2020年



#### 資金提供源：



### 最貧困家庭、インフォーマルセクター、中小零細企業を対象とした保護措置の実施

このプログラムの目的は、COVID-19危機の社会的影響を軽減し、マクロ経済の安定を維持するために、政府当局の対応戦略を支援することにあります。このプロジェクトは、医療・社会的対応を改善して最も脆弱な人々への影響を軽減するとともに、マクロ財政の不均衡に対処しつつ、民間セクターへの危機の影響を軽減することを目指しています。

ここ数年のカーボベルデの好調な経済パフォーマンスは、COVID-19パンデミックによって突然停止させられました。厳しい緊急措置とサプライチェーンの混乱を背景に、2020年には8.9%の経済縮小を余儀なくされました。漁業や観光業など（GDPの20%を占める）のブルーエコノミーへの依存が大きいことから、同国は外生的ショックに対して特に脆弱で、パンデミックの影響が深刻化しています。

近年のカーボベルデは貧困削減に成功していますが、人口の3分の1以上は依然として貧しく、さらに多くの人々がCOVID-19危機に直面して打撃を受けかねません。保険に加入している世帯は医療保険や失業保険を受けることができ、パンデミックの影響から身を守ることができます。しかし、特に農村地域やインフォーマル経済に従事する人々の大部分が、いまなお保険に加入していません。このような状況で、既存のプログラムのみによって対応を行うと、最も弱い立場にある人々に支援が届かず、多くの人が危機を乗り越えるための適切な支援を受けられない恐れがあります。

同国の健康に関する指標は西アフリカで最も優れているものの、リスクは残っており、特に世界的なパンデミックという状況では、その保健システムには大きな改善余地があります。



### 期待される成果



- 世界健康安全保障指数のスコアが5.7%上昇
- 隔離室に新たに95台の人工呼吸器を設置
- COVID-19情報管理ウェブサイトの開発



- さらに3,000戸の脆弱な世帯が社会的包摂のための所得補助や食料支援制度の恩恵を享受
- 3万人のインフォーマル労働者と自営業者が「連帯収入」の恩恵を享受



- 13,224人の一時帰休労働者が所得回復制度の恩恵を享受
- 影響を受けた企業に1,050万ドルの信用枠を提供
- 影響を受けた中小零細企業が法人税、付加価値税、給与税の支払い猶予の恩恵を享受

## 社会的包摂と雇用を通じたCOVID-19対応支援プログラム

### チュニジア



セクター： COVID-19

承認年： 2020年



資金提供源：



### 雇用を守ることで、レジリエントでインクルーシブな成長を実現

このプログラムの目的は、都市と農村地域における雇用機会やビジネスの保護など、医療・社会保護システムのレジリエンスを構築するとともに、経済の回復を加速させることにあります。このプログラムでは、迅速な検査を用いて早期のCOVID-19検査を全国に展開し、定期的な資金援助を行い、社会保険を最も脆弱な人々にまで拡大しました。また、保健・社会支援措置を通じて、COVID-19に対処し、危機の影響を受けた貧困層や低所得者層、経済危機のため仕事や収入を失った企業や労働者、少額の年金しか受け取れない人々への対策が上手くいくよう、政府機関を支援しました。

COVID-19の感染拡大を遅らせるために人々の行動を制限するというチュニジア政府の決定は、経済活動や社会生活に多大な影響を与えました。景気後退の影響で2020年のGDPは8.8%減少し、28%近い雇用が失われました。最近の調査では、67%の企業が資金難に直面し、80%がサプライチェーンの混乱に見舞われ、44%が輸出の受注取消が確認されました。

危機の間、AfDBはチュニジアに1億8,000万ユーロを提供し、短期的には脆弱な人々、若者、貧困層の雇用保護と社会的包摂を通じて、そして中期的には経済の回復を刺激することで、COVID-19の影響を軽減しました。このプログラムは、パンデミックによる健康・経済・金融へのショックを軽減するために必要な資源を提供したほか、企業のレジリエンス強化、民間セクターの保護、雇用の保護、雇用環境の改善による経済成長の確保を目的とした一連の景気循環対策を通じて、経済回復に貢献しました。



### 期待される成果



• 45万人分の迅速検査を調達



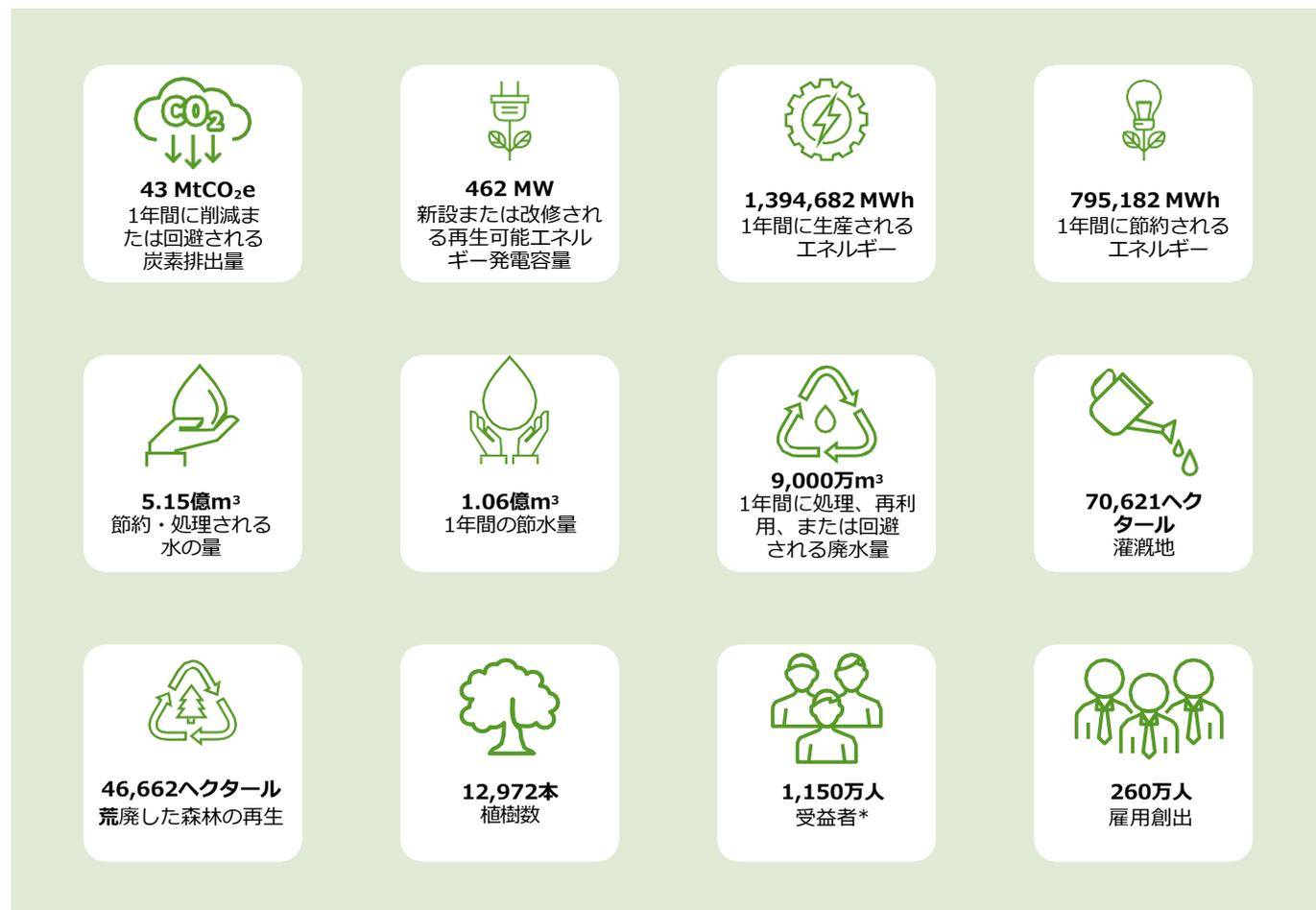
• 200万人に月額200チュニジア・ディナールを支給（低所得世帯62.3万戸、失業者1万人、退職者14万人）  
• 6万食分の食料パッケージを配布



• 60万人の雇用を保護  
• 250,400社の倒産を回避

## グリーンボンド・インパクトレポート

グリーンボンド・ポートフォリオが資金を提供したプロジェクトの2020年12月31日時点におけるインパクトレポート（影響評価報告）<sup>12</sup>



注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。各プロジェクトの完全なインパクトレポートは、ご要望に応じて提供いたします。

<sup>12</sup> このインパクトレポートは、適格グリーンプロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

\* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

## ソーシャルボンド・インパクトレポート

ソーシャルボンド・ポートフォリオが資金を提供したプロジェクトの2020年12月31日時点におけるインパクトレポート（影響評価報告）<sup>13</sup>



注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。各プロジェクトの完全なインパクトレポートは、ご要望に応じて提供いたします。

<sup>13</sup> このインパクトレポートは、適格ソーシャル・プロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

\* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

\*\* 所得創出をインパクト指標とする特定のソーシャル・プロジェクトにおいてのみ。

## COVID-19ボンド・インパクトレポート

COVID-19ボンド・ポートフォリオが資金を提供したプロジェクトの2020年12月31日時点におけるインパクトレポート（影響評価報告）<sup>14</sup>

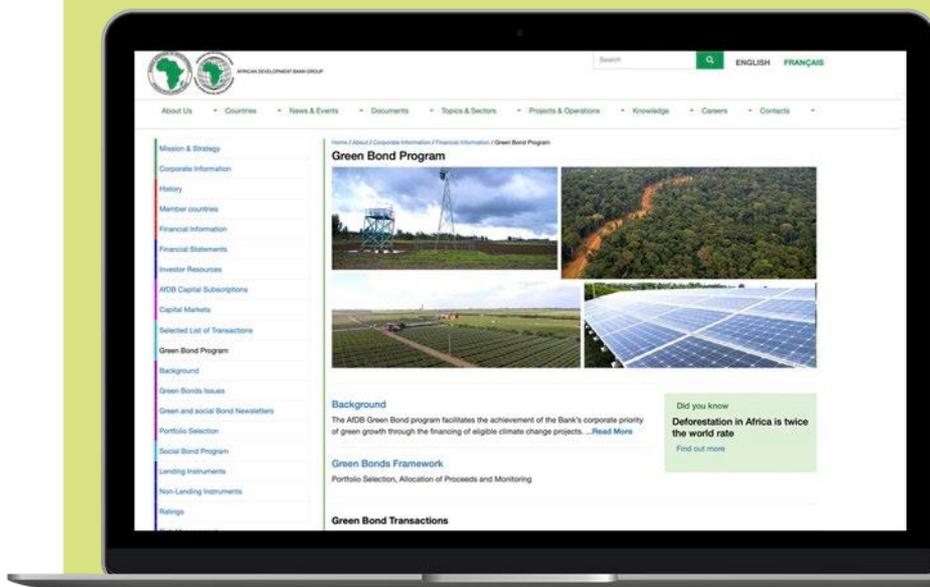


注：このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。各プロジェクトの完全なインパクトレポートは、ご要望に応じて提供いたします。

<sup>14</sup> このインパクトレポートは、該当するCOVID-19プロジェクトに対するAfDBの資金提供の割合に比例して算出されています。

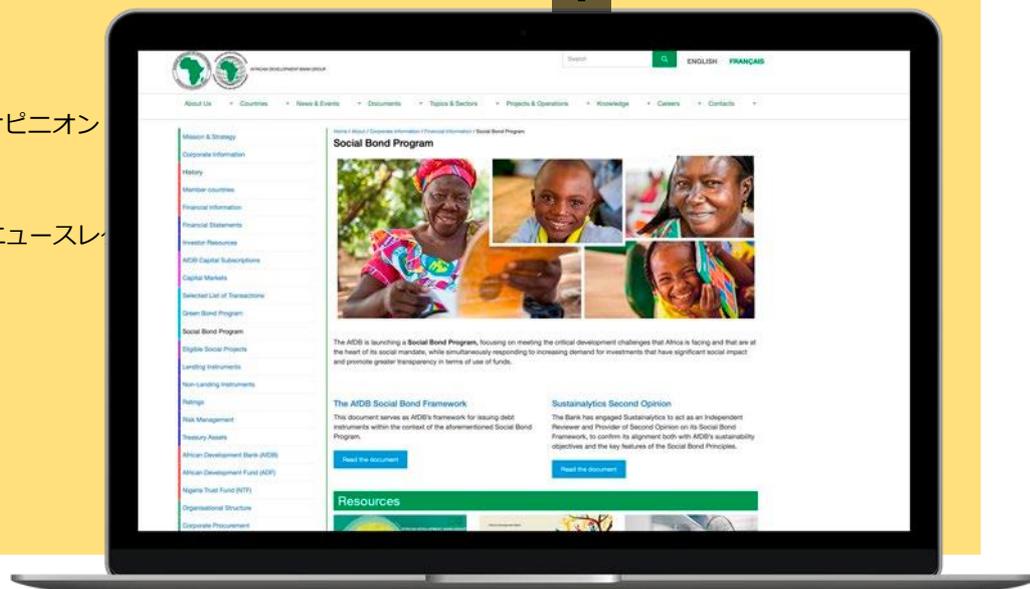
\* 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

## AfDB グリーンボンド ホームページ



- | グリーンボンド枠組
- | CICEROによるセカンドオピニオン
- | 適格グリーンプロジェクト
- | グリーン&ソーシャルボンド・ニュースレター
- | グリーンボンド取引
- | 10カ年戦略（2013年～2022年）
- | 環境政策
- | エネルギー政策
- | 統合セーフガード・システム
- | MDBによる気候変動ファイナンスに関する共同報告書
- | 気候変動ファイナンス・トラッキング手法
- | 開発効果年次報告
- | アフリカのエネルギー普及のための新政策「ニューディール」

## AfDB ソーシャルボンド ホームページ



- | ソーシャルボンド枠組
- | Sustainalyticsによるセカンドオピニオン
- | 適格ソーシャルプロジェクト
- | ソーシャルボンド取引
- | グリーン&ソーシャルボンド・ニュースレター
- | 10カ年戦略（2013年～2022年）
- | 統合セーフガード・システム
- | 開発効果年次報告
- | アフリカ経済見通し
- | COVID-19対応ファシリティ（CRF）

※ 本ニュースレター日本語版は、読者への便宜を図る目的で、正文の英語版より和訳しています。適宜、英語版をご参照ください。

## 透明性と開発成果

### 開発効果年次報告

開発効果年次報告（ADER）は、5つの最優先分野「High 5s」について過去1年間のアフリカの開発状況を評価し、AfDBによる貢献を詳述したものです。また、AfDBのポートフォリオを強化し、事業の効果を高めるための継続的取組の成果も示しています。



#### 2020年に完了したプロジェクトによる開発インパクトの成果

- | 26万人が新たに電力に接続
- | 1,640万人が農業の改善による恩恵を享受
- | 830万人の水および衛生へのアクセスを改善
- | 7,700社の自営業および中小零細企業に金融サービスへのアクセスを提供
- | 920万人の輸送サービスへのアクセスを改善
- | 17万人の教育へのアクセスを改善
- | 11.8万人にトレーニングを提供

#### データポータル

プロジェクト・データポータルから、1967年以降にAfDBが実施したすべての融資プロジェクトに関する情報にアクセスすることができます。ワンクリックで操作できるこのユーザーフレンドリーなポータルサイトでは、既製のツールを用いて4,855件以上のプロジェクトをモニターおよび表示することができ、国別、地域別、セクター別、High 5s別の情報も得られます。全体として、このポータルサイトは、どこにニーズとリソースのギャップがあるかをより深く理解するのに役立ちます。



AfDBのグリーンボンド・インパクトレポートは、「グリーン資産ウォレット（Green Asset Wallet）」プラットフォームで見ることができます。これは、グリーンボンド市場に効率性と透明性をもたらすために設計された、資金調達インパクトの検証と報告のための世界初のブロックチェーン・プラットフォームです。

